

ウィズ・キッズ '25

赤・青・白 杉山留美子さんの部屋

With Kids '25: Red, Blue, and White – Sugiyama Rumiko's Room



2025年7月19日(土)～11月24日(月・祝)
展示室A1階

杉山留美子さん(1942-2013)は、色の持つ力を追い求めた画家です。この展覧会では、杉山留美子さんが手がけた赤・青・白などによる作品を展示します。色に包まれるような空間の中で、ぜひそのパワーを体験してみてください。

* 寸法は縦×横

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*
1	杉山 留美子	From All Thoughts Everywhere -B-	2000(平成12)	アクリル絵具・綿キャンバス	120.0×120.0
2	杉山 留美子	WORK 9704-1	1997(平成9)	アクリル絵具・綿キャンバス	193.9×112.1
3	杉山 留美子	WORK 9704-2	1997(平成9)	アクリル絵具・綿キャンバス	193.9×112.1
4	杉山 留美子	WORK 9704-3	1997(平成9)	アクリル絵具・綿キャンバス	193.9×112.1
5	杉山 留美子	HERE - NOW あるいは難思光 - 6	2011(平成23)	アクリル絵具・綿キャンバス	各100.0×100.0 (3点組)
6	杉山 留美子	HERE-NOW あるいはシャンバラの夜明け	2006(平成18)	アクリル絵具・綿キャンバス	各130.0×89.0(2点) 各130.0×97.0(3点)

全て当館蔵

1945-2025 美術は何を記憶しているか

What Kind of Memories Does Art Contain? 1945-2025



2025年7月19日(土)～11月24日(月・祝)
展示室A1階

2025年、第二次世界大戦の終結から80年を迎えます。戦後から現代に至るまで、美術は激動する社会と関わりながら展開し、時代ごとの思潮や出来事を記憶として宿しています。本展では、その記憶を掘り起こし、80年間の美術と社会の動向を探ります。

* 寸法は縦×横、奥行×幅×高さ、または縦×横×奥行

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*
-----	-----	-----	-----	-------	---------

I 1945 - 戦争の記憶

1	国松 登	眼のない魚	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	91.1×116.5
2	小谷 博貞	八月の原野	1993(平成5)	油彩・キャンバス	130.0×193.5
3	亀山 良雄	閑日	1989(平成元)	油彩・キャンバス	72.5×116.5

II 風土探訪

4	木田 金次郎	早春のホリカップ	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	72.7×90.9
5	北岡 文雄	厚田海岸	1975(昭和50)	板目木版・紙	39.8×55.0
6	阿部 貞夫	北辺の樹群	1968(昭和43)	木版・紙	65.2×99.5
7	岡部 文之助	網走港にて	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	89.7×145.9
8	本間 莞彩	夕陽の北海	1957(昭和32)	紙本彩色	182.5×156.4

III 前衛へ

9	高橋 英生	「TUBE」に還元された意識	本作:1964(昭和39) 再制作:1994(平成6)	ベニヤ板、和紙・絵具チューブ	94.5×165.0
10	八木 保次	燃焼	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	127.0×83.5
11	佐々木 美枝子	作品	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	81.5×107.5
12	阿部 典英	作品-A	1970(昭和45)	ゴム、ボア、木、空気	57.0×117.0×58.0
13	難波田 龍起	秋の詩	1961(昭和36)	油彩、エナメル・キャンバス	112.1×193.9

IV 場の拡張

14	檜原 武正	作品83	1983(昭和58)	ミクストメディア	130.0×162.0
15	岩下 碩通	蟬時雨	1986(昭和61)	グワッシュ、黒鉛・合板、和紙	147.3×147.9×9.5

16	米谷 雄平	地に還るもの I	1981(昭和56)	アクリル絵具・キャンバス	180.0×225.5
17	後藤 和子	Ariadone・Cross	1981(昭和56)	アクリル絵具・キャンバス	227.0×182.0
18	上田 公夫	作品 PUC81	1981(昭和56)	プラスチック	35.0×35.0×200.0

V 出来事をうつす

19	岡部 昌生	YUBARI MATRIX 1992-1995より	1992(平成4)～1995(平成7)	フロッター・ジュ、鉛筆・弁柄、テープ、紙 *材質 詳細:鉛筆、弁柄、布テープ、キャンソソ紙、和紙、 カルトン	(大)各75.0×110.0×0.5 (小)各55.0×75.0× 0.5(38点組:大12 小26)
20	畠山 哲雄	待春・夕張	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	112.5×145.4
21	國松 明日香	The 2nd Channel for V.T.R.	1975(昭和50)	シルクスクリーン・ブラウン管	16.0×34.0×28.0
22	掛川 源一郎	長万部・1957 開拓地の兄妹	1957(昭和32)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
23	掛川 源一郎	長万部・1963 開拓農家に夕陽が差す	1963(昭和38)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
24	掛川 源一郎	長万部・1956 地中から掘り出した根株の山は、巨大な城砦のようだった	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
25	掛川 源一郎	長万部・1959 馬耕する仲宗根氏	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.5×27.9
26	掛川 源一郎	伊達・1966 ちょっと気取って	1966(昭和41)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
27	掛川 源一郎	伊達・1965 左手だけでもなんでもやれるわ	1965(昭和40)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
28	掛川 源一郎	伊達・1964 絵本を読む子	1964(昭和39)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
29	掛川 源一郎	伊達・1970 見守る人たち	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
30	掛川 源一郎	伊達・1970 海上の攻防戦	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
31	掛川 源一郎	伊達・1970 建設予定地付近を、反対派住民が歩く	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5
32	掛川 源一郎	伊達・1970 資材の荷揚げにシュプレヒコール	1970(昭和45)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.5

VI 写真と現実、あるいは非現実

33	瀬戸 英樹	牛乳台のある風景	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	193.9×130.1
34	佐藤 武	時	1987(昭和62)	アクリル絵具・キャンバス	182.0×227.5
35	伊藤 光悦	Airport	1999(平成11)	油彩、アクリル絵具・キャンバス	130.5×162.0
36	神田 日勝	室内風景	1970(昭和45)	油彩・板	227.3×181.8
37	尾崎 志郎	赤い工場 B	1974(昭和49)	木版・紙	44.5×89.5
38	宮川 美樹	刻	2001(平成13)	アクリル絵具、水彩・紙	88.3×113.8

VII 記録されるもの 空れないもの

39	伊藤 隆介	こんなことは無かった	2012/2022(平成24/令和4)	CCDカメラ、液晶プロジェクター、モーター、 照明器具、ミクストメディア	ジオラマ:150.0×185.0×160.0 映像:スクリーンサイズに依り可変
40	露口 啓二	地名 信香/Nobuka/nup-ka-oma-nay(野の上にある・川=of the field, upper area, there is, river)	2001(平成13)	タイプCプリント	各40.6×50.8(2点組)
41	露口 啓二	地名 発足/Hattari/kamuy-hattar(神の淵=God's depths)	2001(平成13)	タイプCプリント	各40.6×50.8(2点組)

VIII 私を探る

42	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	81.0×100.0
43	深井 克美	黄昏	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	116.3×80.6
44	森山 誠	memory 2000-3	2000(平成12)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
45	松樹 路人	描き続ける	2012(平成24)	油彩・キャンバス	130.3×130.3
46	鈴木 涼子	私は…no. 20	2015(平成27)	タイプCプリント	120.0×180.0

全て当館蔵

透明なガラス スウェーデンのリリシズム

Transparent Glass: Swedish Lyricism



2025年7月19日(土)~11月24日(月・祝)
展示室A2階

スウェーデンのガラス工芸は、20世紀に入ってから飛躍的な発展をとげました。オレフォッシュ社がシーモン・ガーテ、エードヴァルド・ハルドをデザイナーとして迎え入れたのをきっかけに、芸術家と職人が積極的に共同制作に取り組み、独創的なデザインのガラス作品を次々と制作していきます。本展では、ガーテ、ハルドをはじめ、そのあとを引き継ぎ、個性あふれる作品を生み出していったヴィック・リンドストランド、スヴェン・パルムクヴィストらの作品を展示し、スウェーデン・ガラスの清新な魅力を紹介します。

*寸法は径×高さ、または幅×奥行×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*
1	ヴィック・リンドストランド/オレフォッシュ社	花器・真珠採り	デザイン:1934 制作:1938	ガラス:吹込み、エングレーヴィング	16.8×28.0
2	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	花文台付鉢	1917	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング、被せガラス(グラール)	20.0×20.1
3	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	高脚杯	デザイン:1923 制作:1923	ガラス:吹込み	16.8×19.3
4	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	人物文ゴブレット	デザイン:1920 制作:1926	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	13.2×24.0
5	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	馬に人物文コンポート	デザイン:1920 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	23.5×18.8
6	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	皿付鉢・ダイアナ	デザイン:1920 制作:1926	ガラス:エングレーヴィング	22.0×16.6×2.0(皿) / 21.1×15.7×11.7(鉢)
7	シーモン・ガーテ/オレフォッシュ社	花器・アダムとイヴ	1930	ガラス:エングレーヴィング	14.0×15.5
8	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	鉢・花火	デザイン:1921 制作:1927頃	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	28.0×21.0
9	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	皿付鉢・ヴェール	デザイン:1919 制作:1922	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	29.4×23.5
10	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	鉢・葡萄の収穫	デザイン:1924 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	27.9×13.5(鉢) / 29.8×2.2(皿)
11	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	蓋付ゴブレット・ニグロハウス	デザイン:1918 制作:1924	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	13.9×26.1
12	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	花器	1942	ガラス:宙吹き、エッチング、被せガラス	14.0×19.4
13	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	鉢	1939	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング、被せガラス	14.2×12.1
14	エードヴァルド・ハルド/オレフォッシュ社	鉢・雷雨	デザイン:1922 制作:1953	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	14.4×11.2
15	ヴィック・リンドストランド/コスタ社	花器・漁網	デザイン:1951頃 制作:1955/56	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	25.7×12.5×34.0
16	ヴィック・リンドストランド/コスタ社	花器・秋	デザイン:1950~51 制作:1950代	ガラス:宙吹き、色ガラス封入	14.3×9.4×22.4
17	ヴィック・リンドストランド/コスタ社	花器・洗濯	デザイン:1951頃 制作:1950代	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	20.0×10.3×26.1
18	エーヴァルド・ダールスクーグ/コスタ社	蓋付台付鉢・メリーゴーランド	1926	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング	28.0×38.5
19	エーヴァルド・ダールスクーグ/コスタ社	蓋付高脚杯・テスピス	デザイン:1927 制作:1927~31	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング	13.4×38.7
20	ボーダ工房/エリック・S.ホグランド	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:鑄造	5.1×5.3×6.4
21	ボーダ工房	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:斑文ガラス	7.1×8.4×7.3
22	コスタ工房	ペーパーウェイト	1970頃	ガラス:気泡封入	7.3×10.6
23	オレフォッシュ社/ニルス・ランドベリ	ペーパーウェイト	1979	ガラス	6.8×6.0
24	コスタ工房	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:カット、サンドブラスト	8.1×8.6
25	コスタ工房/ヴィック・リンドストランド	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:気泡封入	8.6×8.1
26	コスタ工房/ベンクト・ハイイツ	ペーパーウェイト	1970頃	ガラス:被せガラス、気泡封入、カット	6.0×8.6
27	コスタ工房/モーナ・モーラレス=シルト	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:被せガラス、カット	4.6×5.9
28	コスタ工房/モーナ・モーラレス=シルト	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:被せガラス、カット	4.6×5.9
29	コスタ工房/ゴラン・ウォルフ	ペーパーウェイト	1960代	ガラス:被せガラス	5.9×8.0
30	コスタ工房/ゴラン・ウォルフ	ペーパーウェイト	1970頃	ガラス:気泡封入	6.9×6.5

31	コスタ工房/ゴラン・ヴォルフ	ペーパーウェイト	1970頃	ガラス:気泡封入	6.5×7.5
32	ニルス・ランドベリイ/オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	11.0×44.2
33	ニルス・ランドベリイ/オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	12.7×48.8
34	ニルス・ランドベリイ/オレフォッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き	12.6×48.2
35	インゲボリイ・ルンディーン/オレフォッシュ社	花器・りんご	デザイン:1957	ガラス:被せガラス、宙吹き	33.8×36.0
36	インゲボリイ・ルンディーン/オレフォッシュ社	花器・顔	1968	ガラス:被せガラス、気泡封入	12.3×16.0
37	スヴェン・パルムクヴィスト/オレフォッシュ社	鉢・カンタラ	1944	ガラス:被せガラス、宙吹き	31.5×8.5、16.5×6.0 (2点組)
38	スヴェン・パルムクヴィスト/オレフォッシュ社	鉢 ラヴェンナ	1952	ガラス:ラヴェンナ技法	25.5×19.5
39	スヴェン・パルムクヴィスト/オレフォッシュ社	花器・ラヴェンナ	1971	ガラス:ラヴェンナ技法	14.0×15.0×14.0
40	エードヴィン・エールシュトレム/ オレフォッシュ社	鳩に人物文花器	1953	ガラス:宙吹き、サンドブラスト、被せガラス	14.5×18.7
41	モーナ・モーラレス=シルト	花器	1960代	ガラス:被せガラス、カット	11.3×7.0×17.2
42	ベント・エーデンファルク/スクルーヴ社	花器・タラッタ	1960頃	ガラス:アリエル技法	15.0×19.0
43	アナ・アナー/コスタ工房	ホワイト・ボウル	1980	ガラス:被せガラス、エッチング	21.5×17.0
44	ウルリーカ・ヒュードマン=ヴァッリーン/ ボータ社	誘惑 I	1991	ガラス:宙吹き、エッチング、エナメル焼き付 け、被せガラス	14.4×21.4
45	ベッティル・ヴァッリーン	鍵	1971	ガラス:被せガラス、エッチング、サンドブラ スト	16.5×14.6
46	ベッティル・ヴァッリーン	手・手・手	1974	ガラス:被せガラス、エッチング、サンドブラ スト	20.4×25.5×18.8
47	ベッティル・ヴァッリーン	静かなる旅	1985	ガラス:サンドキャスト	48.0×11.0×14.0
48	ベッティル・ヴァッリーン	ポート	不詳	ガラス:サンドキャスト	48.5×9.3×7.3
49	プレストン・シングレタリー	無題	1991	ガラス:宙吹き、被せガラス、溶着	9.5×22.8
50	プレストン・シングレタリー	無題	1991	ガラス:宙吹き、被せガラス、溶着	27.6×50.1
51	プレストン・シングレタリー	無題	1991	ガラス:宙吹き、被せガラス、溶着	25.5×54.5
52	プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス:宙吹き、被せガラス、溶着	27.6×50.1
53	プレストン・シングレタリー	なぐりがきの花瓶	1990	ガラス:宙吹き、被せガラス、溶着	25.5×54.5
54	アン・ヴォルフ	スープの王様がいない	1980	ガラス:被せガラス、サンドブラスト、エッチ ング	40.0×45.0
55	アン・ヴォルフ	マザーズ・ボウル	1981	ガラス:被せガラス、サンドブラスト、エッチ ング	28.5×22.0
56	アン・ヴォルフ	彫刻 二重の顔	1988	ガラス:エッチング、サンドブラスト、多色被 せ	42.5×26.0×77.0
57	カイ・フランク	花器	1970頃	ガラス:型吹き	17.0×21.8
58	ベント・ボネ	人間	1985	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	18.5×21.5×39.5
59	ベント・ボネ	山	1985	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	16.5×22.7×34.0
60	フィン・リュンゴー	陸、海そして空	1982	ガラス:エナメル彩	20.5×26.0
61	フィン・リュンゴー	蝶	1982	ガラス:被せガラス、銀箔溶着	22.0×23.0

全て当館蔵

青木美歌《未生命の遊槽》

Aoki Mika, Aquarium of life and death



2025年7月19日(土)~2026年4月12日(日)(予定)
展示室A2階

生命体のつながりや光をテーマに、ガラスを素材とする制作を展開した青木美歌(1981~2022)。その最大級のインスタレーションを通年展示します。

*Nos. 2,3 の寸法は奥行×幅×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)*
1	青木美歌	未生命の遊槽	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	可変
2	青木美歌	animagraphy#3	2010(平成22)	ガラス:バーナーワーク	36.4×31.9×9.4
3	青木美歌	Nr-ls-32	2013(平成25)	ガラス:バーナーワーク	12.2×24.4×28.3

全て当館蔵

アートギャラリー北海道

手のひらの宇宙－洞爺湖芸術館コレクション展

Art Gallery Hokkaido: A Universe in the Palm of Your Hand – The Toyako Museum of Art Collection

2025年7月19日(土)~11月24日(月・祝)
展示室A2階



道内の美術館を紹介する展覧会。洞爺村(2006年より洞爺湖町)で「手のひらの宇宙」をテーマとして作品のサイズを限定した小型彫刻の国際公募展「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」が、1993年から2007年まで8回開催されています。洞爺湖芸術館に収蔵された受賞作品のコレクションを紹介します。

*寸法は幅×奥行×高さ

No.	作家名	作品名	国籍(受賞当時居住地)	制作年 受賞	技法・材質	寸法(cm)
1	高橋勇一郎	虫ケラの砦	日本	1993 大賞	鉄	20.0×40.0×20.0
2	ジェフリー・C.キース	BIRCH FISH	アメリカ	1993 優秀賞	ブロンズ	20.0×38.1×17.5
3	眞板雅文	連山夢想-とうやむら	日本	1993 入選	ステンレス、石	20.0×31.0×17.0
4	増田ひで子	growing'93	日本	1993 入選	セミクリスタル	15.0×20.0×27.0
5	エマニエル・ハトゾフ	ANCHOR	イスラエル	1995 大賞	黒御影石	30.0×20.0×25.0
6	ペールーズ・ダレッシュ	Without Title	イラン	1995 T氏賞	石	20.0×30.0×40.0
7	デイビッド・キナーン	SOLIDS	アイルランド	1995入選	ブロンズ、木	28.0×28.0×20.0
8	ラモン・G.オルリーナ	TAGUMPAY(LAURELS)	フィリピン	1995入選	ガラス	20.0×32.0×25.0
9	野口明美	2EN1	日本(フランス)	1997大賞	木	7.5×22.6×36.0
10	クリスティーン・C.スミス	THE NAVIGATOR	アメリカ	1997 優秀賞	ブロンズ	20.0×40.0×30.0
11	キャサリン・リー・フェルッチ	RONCHAMP LAMPSHADE	アメリカ	1997 入選	薄葉紙、光線	7.5×7.5×7.5
12	武田由宇	音(ね)	日本	1997 入選	鉄	13.0×27.0×27.0
13	ゲオルグ・グリュックマン	Soraya 2c	ドイツ	1999 大賞	溶解金属、ナイロン	12.0×12.0×25.5
14	貴依秀行	澎湃(ほうはい) - 瀧りうつ光 -	日本	1999 優秀賞	紙、アクリル樹脂	19.0×28.0×24.0
15	エロール・ブルース・デービス	SOLAR NET	オーストラリア	1999 入選	電子ニッケル	20.0×28.0×34.0
16	フローレンス・イザベル・ホフマン	ONE AND TOGETHER	ルクセンブルク	1999 入選	ブロンズ	20.0×30.0×30.0
17	和泉聡志	曳航(えいこう)	日本(イタリア)	1999 入選	黒大理石、真鍮、ステンレス	19.5×32.5×29.0
18	原一史	西方のシタデル	日本	2001 大賞	コルテン鋼、石	20.0×30.0×40.0
19	ボバン・イリック	BALANCED MAN	ユーゴスラヴィア(アメリカ)	2001 F氏賞	ステンレス	20.0×30.0×40.0
20	張慶南	富山の思い出	韓国(日本)	2001 入選	ガラス	20.0×30.0×40.0
21	ジョルジー・クバジャック	THE WAY TOWARD THE SUN	ユーゴスラヴィア	2001 入選	黒石	20.0×30.0×40.0
22	長沼克己	DREAM-BAG	日本	2001 入選	白大理石、黒御影石	24.0×18.0×40.0
23	マリアドロレス・カステジャノス	ROOTED	グアテマラ	2003 大賞	樹脂、坩堝	18.0×18.0×40.0
24	ハンナ・H・ジュブラン	Immortality Unveil	イスラエル	2003 準大賞	石鹸石、ブロンズ	14.0×29.0×36.0

25	アントネッラ・ティオツォ	PICCOLA TRAPPOLA(LITTLE TRAP)	イタリア	2003 優秀賞	カララ産大理石	17.0×26.0×28.0
26	曾我部正文 曾我部和子	安息の場所	日本	2003 F氏賞	ガラス	20.0×26.0×31.0
27	ラインハルト・スコラッキ	To the Stars We Have Yet to Meet	カナダ	2003 入選	砂岩、ブロンズ	9.0×33.0×28.0
28	パネッテ・キフ	TRAVELLER WORLD	ルーマニア	2005 大賞	木(樅木、オーク)	40.0×20.0×19.0
29	アリヤ・キティチャロ エンウィワット	“FLYING IN THE BOX”	タイ	2005 優秀賞	ステンレス、樹脂、アクリル、木	20.0×30.0×38.0
30	セボグ・ウィー	Seed of Cosmos	韓国	2007 大賞	ステンレス	21.0×20.0×21.0
31	スマイル・ジジ	TABŮ	アルジェリア(イタリア)	2007 優秀賞	カララ産大理石	27.0×15.0×40.0
32	阿部典英	ソーラン節 ロックにのって 祭り来る	日本	2007 小田襄賞	ステンレス、油性塗料	16.0×19.5×37.5

全て洞爺湖芸術館蔵

この1点を見てほしい。

Enjoy Special One Piece

2025年7月19日(土)～11月24日(月・祝)
前庭・ロビー(2階)

6,000点を超える当館コレクションの中から1点を選び、学芸員が多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

* 寸法は奥行×幅×高さ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形態	寸法(cm)*
1	本郷新	嵐の中の母子像	1953(昭和28)	ブロンズ	65.5×182.5×145.0

全て当館蔵